

調布都市計画下水道の変更原案に関する公聴会

令和 8 年 7 月 24 日 ・ 25 日

狛江市都市建設部まちづくり推進課

多摩川雨水幹線ポンプ施設に係る変更について

1. 多摩川雨水幹線流域（猪方排水樋管の流域）

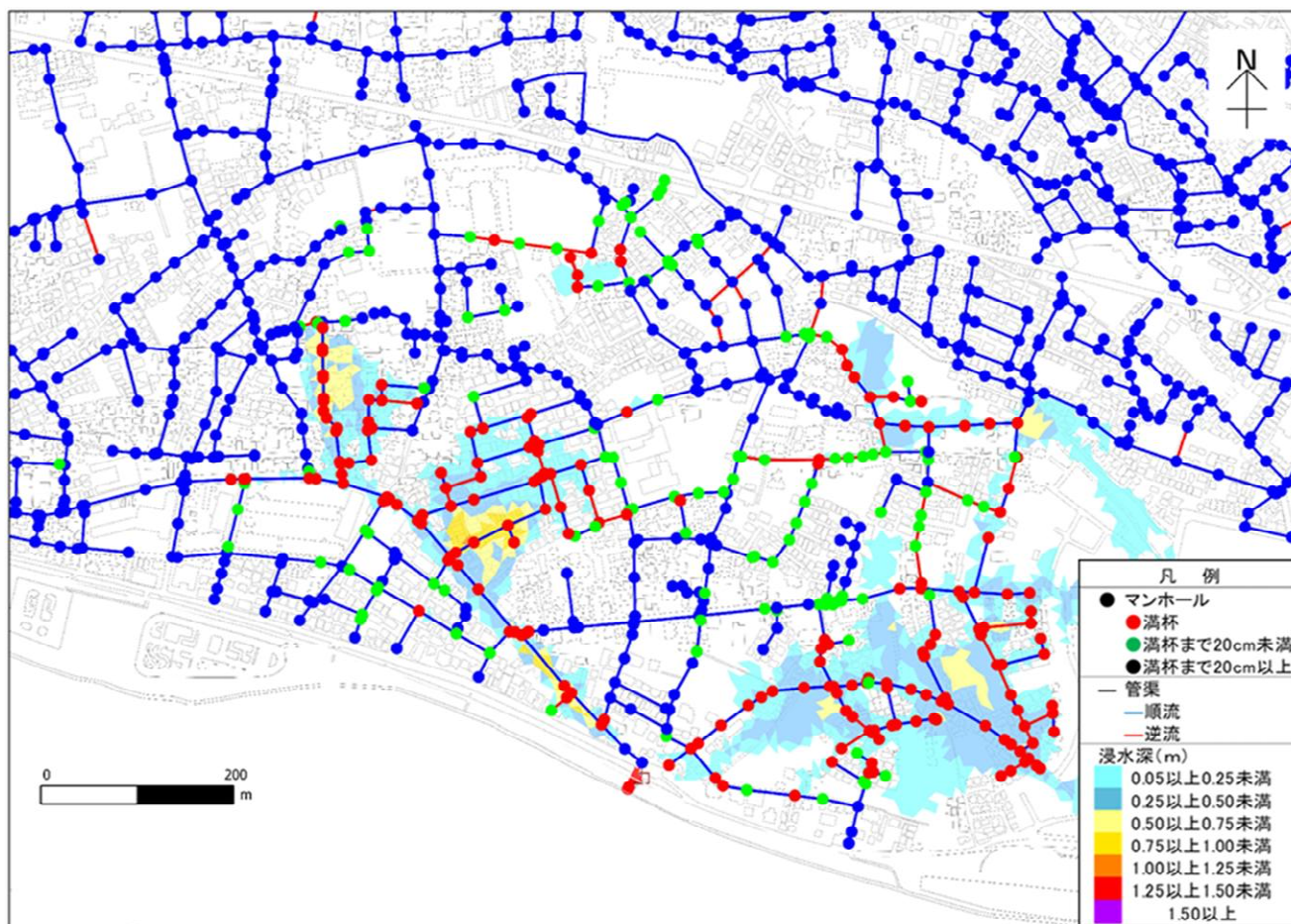


猪方排水樋管



項目	猪方排水樋管諸元
設置位置	多摩川左岸21.60km (駒井町三丁目501番地先)
設置年月	昭和53年3月
流域面積	約95ha
樋管種別	排水
樋管構造	幅2.9m×高さ2.9m×1連
樋管敷高	A.P.+13.450m (T.P.+12.316m)
ゲート形式	鋼製ローラーゲート
操作方法	電動式
排水ポンプ	令和2年7月に配備 吐出量計 2 m ³ /min (0.5m ³ /min×4基)

2-1. 多摩川雨水幹線流域における浸水被害の状況



<令和元年東日本台風最大浸水時のシミュレーション結果>



< 浸水の状況 >

2-2. 多摩川雨水幹線流域における浸水被害の対策状況と目標レベル

■ 樋管最適操作

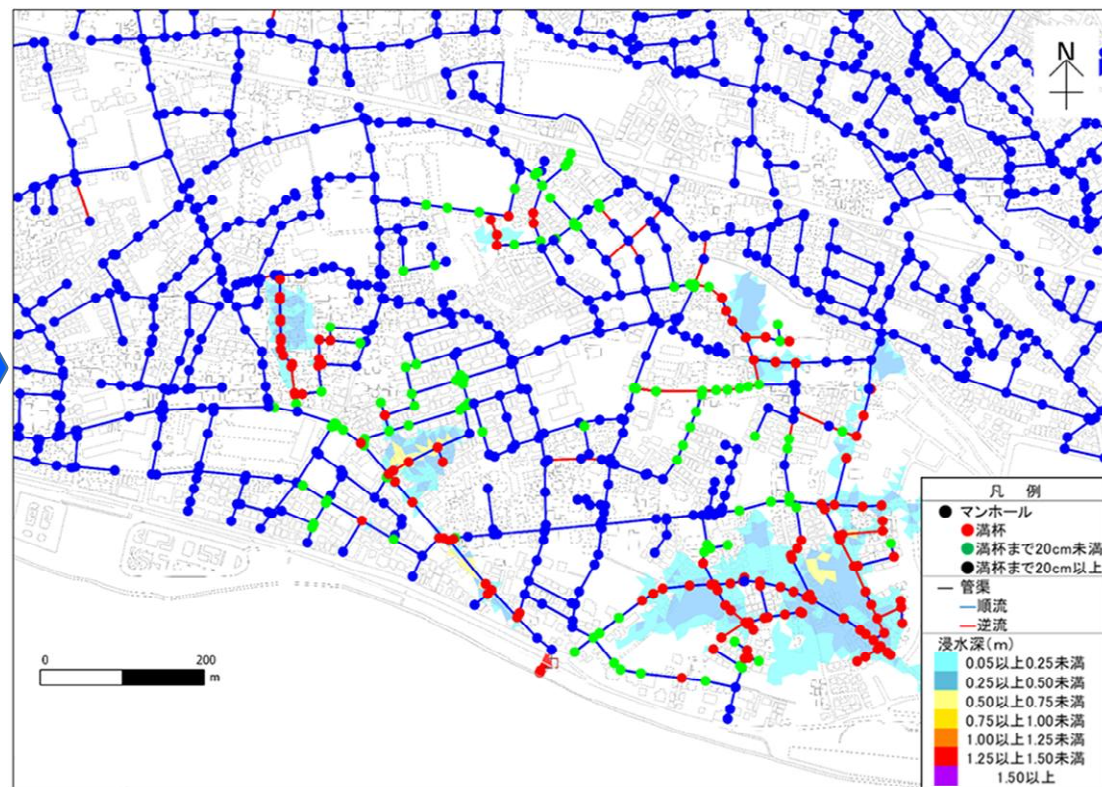
・ 計算条件

① 樋管の操作

多摩川からの逆流発生時に樋管を閉塞する
最適操作

② 水位設定

令和元年東日本台風時の痕跡水位



樋管最適操作による浸水被害軽減シミュレーション結果



【対策の目標】 浸水の解消

本日説明するポンプ施設の設置により、令和元年東日本台風と同規模の台風が来ても、
浸水が生じないよう再度災害防止に取り組む。

3. ポンプ施設の計画概要①



①定置式ポンプ施設

目的：

多摩川雨水幹線から定置式ポンプを経由して、多摩川に雨水を排水

施設概要：

$\phi 1,000\text{mm}$ $150\text{m}^3/\text{分}$ ($=2.50\text{m}^3/\text{秒}$) $\times 2$ 台

②流入管

目的：

多摩川雨水幹線から定置式ポンプへ水流入させる

施設概要：

BOX型 $1,500\text{mm} \times 2,000\text{mm}$, $L \approx 14\text{m}$

③圧送管

目的：

ポンプ施設から多摩川雨水幹線の最下流部まで水を流すことで、多摩川へ排水

施設概要：

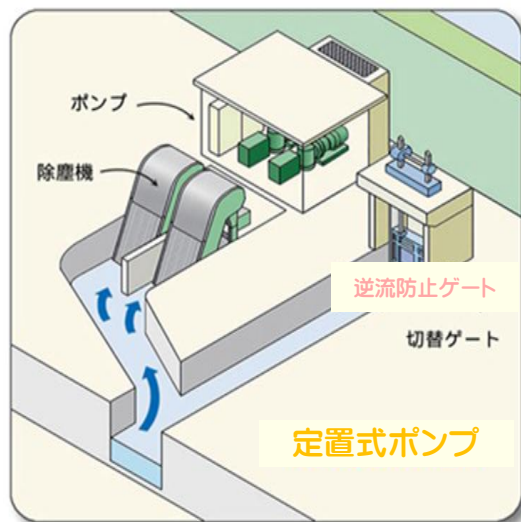
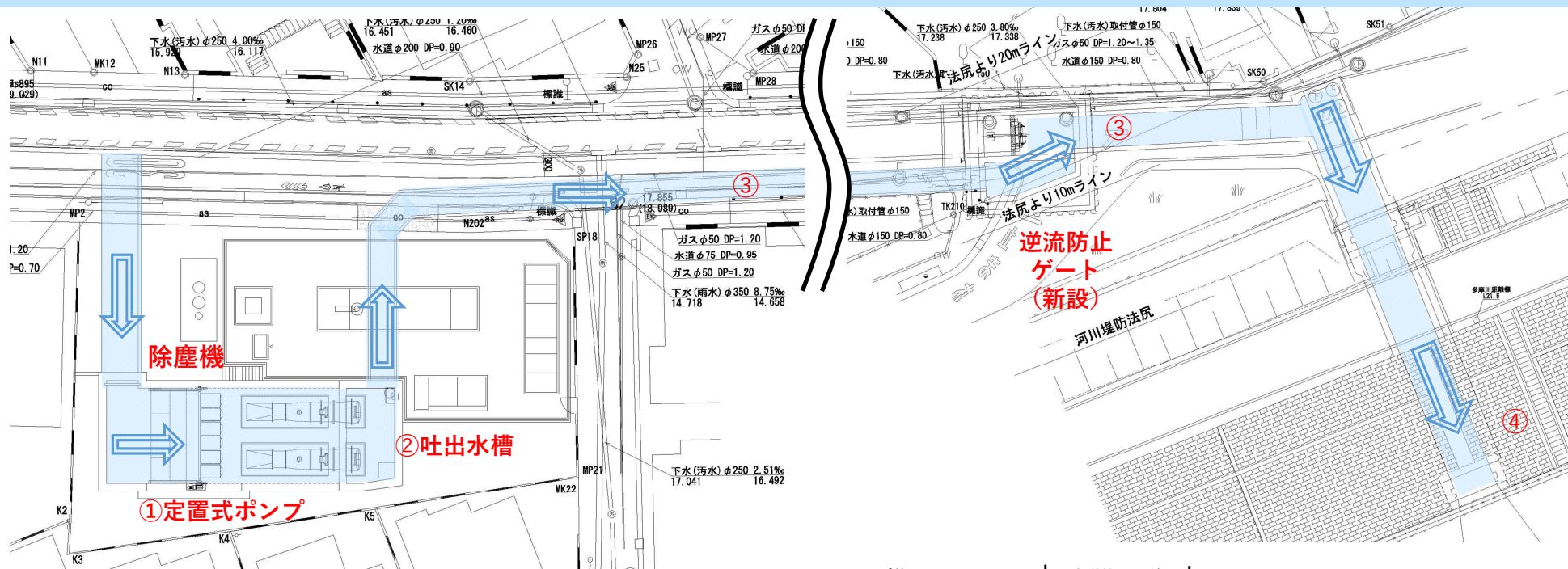
$\phi 1,500\text{mm}$, $L \approx 90\text{m}$

④逆流防止ゲート

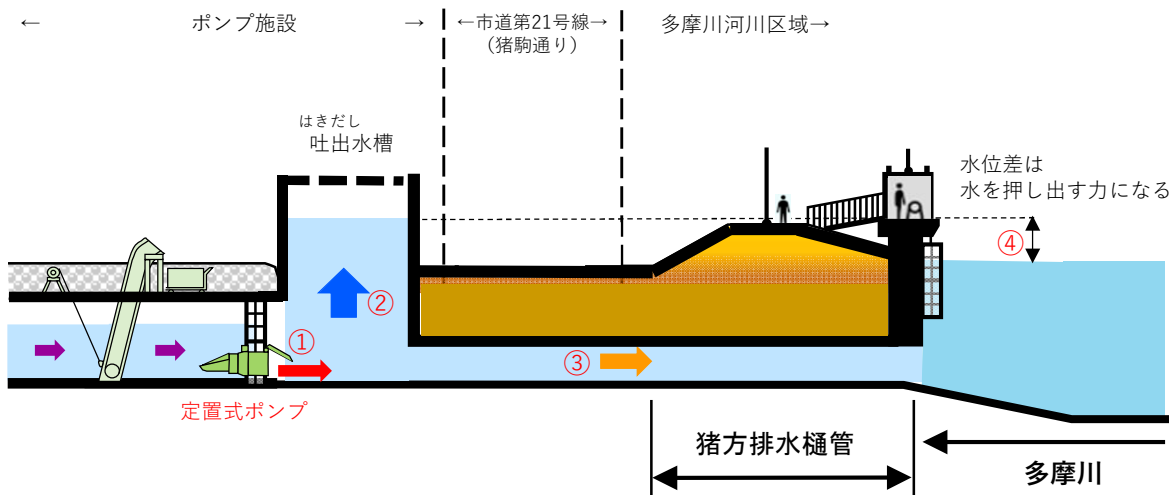
目的：

多摩川雨水幹線の逆流を防ぐ
(多摩川雨水幹線内に新設)

3. ポンプ施設の計画概要②



<配置イメージ図>



※検討中のイメージ図であり、今後変更の可能性あります。

3. ポンプ施設の計画概要③

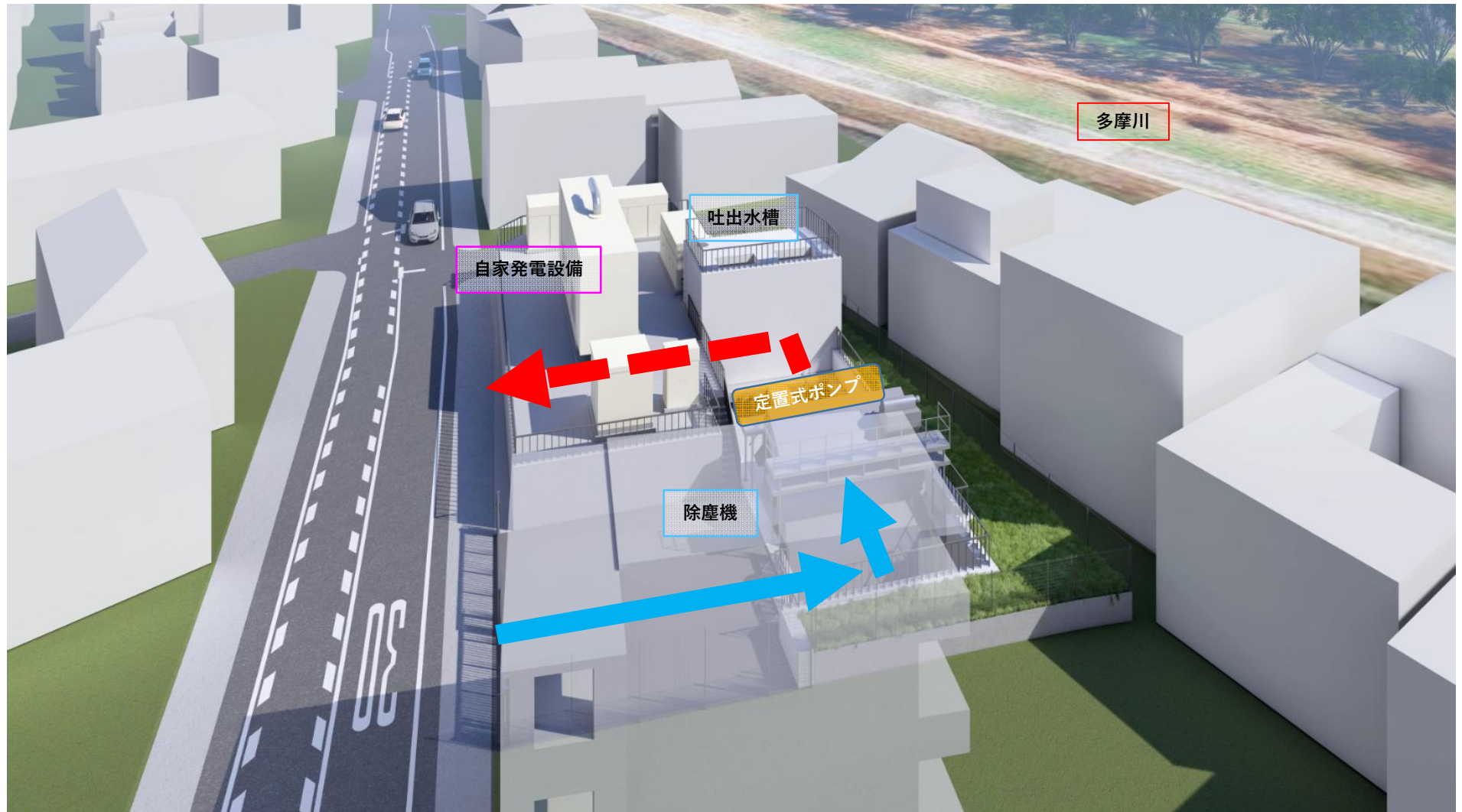
ポンプ施設設置後の雨水排水の流れイメージ



- ・ 平常時は、多摩川雨水幹線から多摩川に向けて排水
- ・ 多摩川の水位上昇に伴い、多摩川雨水幹線の流量が減少
- ・ 逆流防止ゲートにより多摩川雨水幹線の逆流を防ぎながらポンプにより圧送管を通じて多摩川に向けて排水

3. ポンプ施設の計画概要④

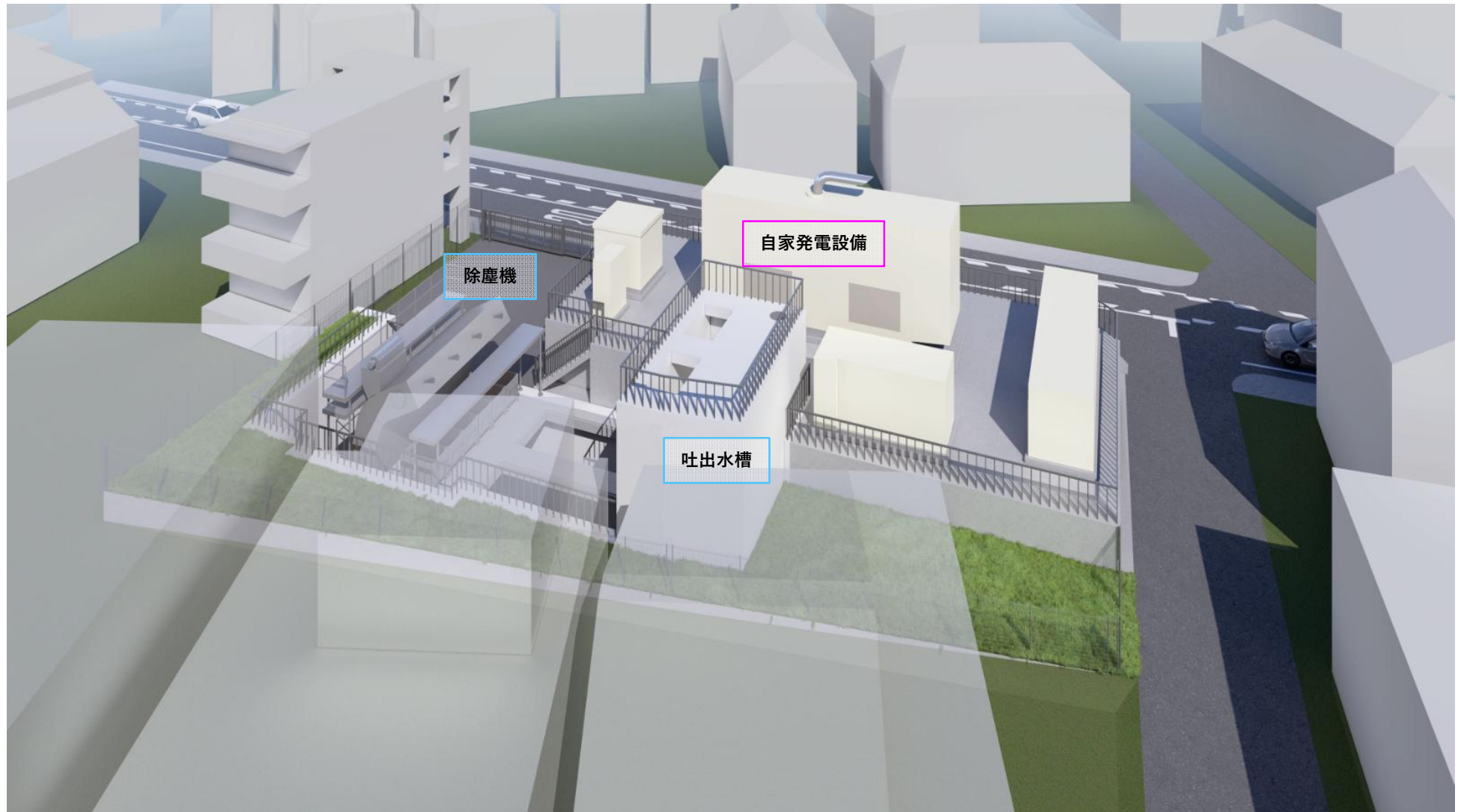
鳥瞰図〈北西から望む〉



※検討中のイメージ図であり、今後変更の可能性があります。

3. ポンプ施設の計画概要⑤

鳥瞰図〈南西から望む〉



※検討中のイメージ図であり、今後変更の可能性があります。

3. ポンプ施設の計画概要⑥

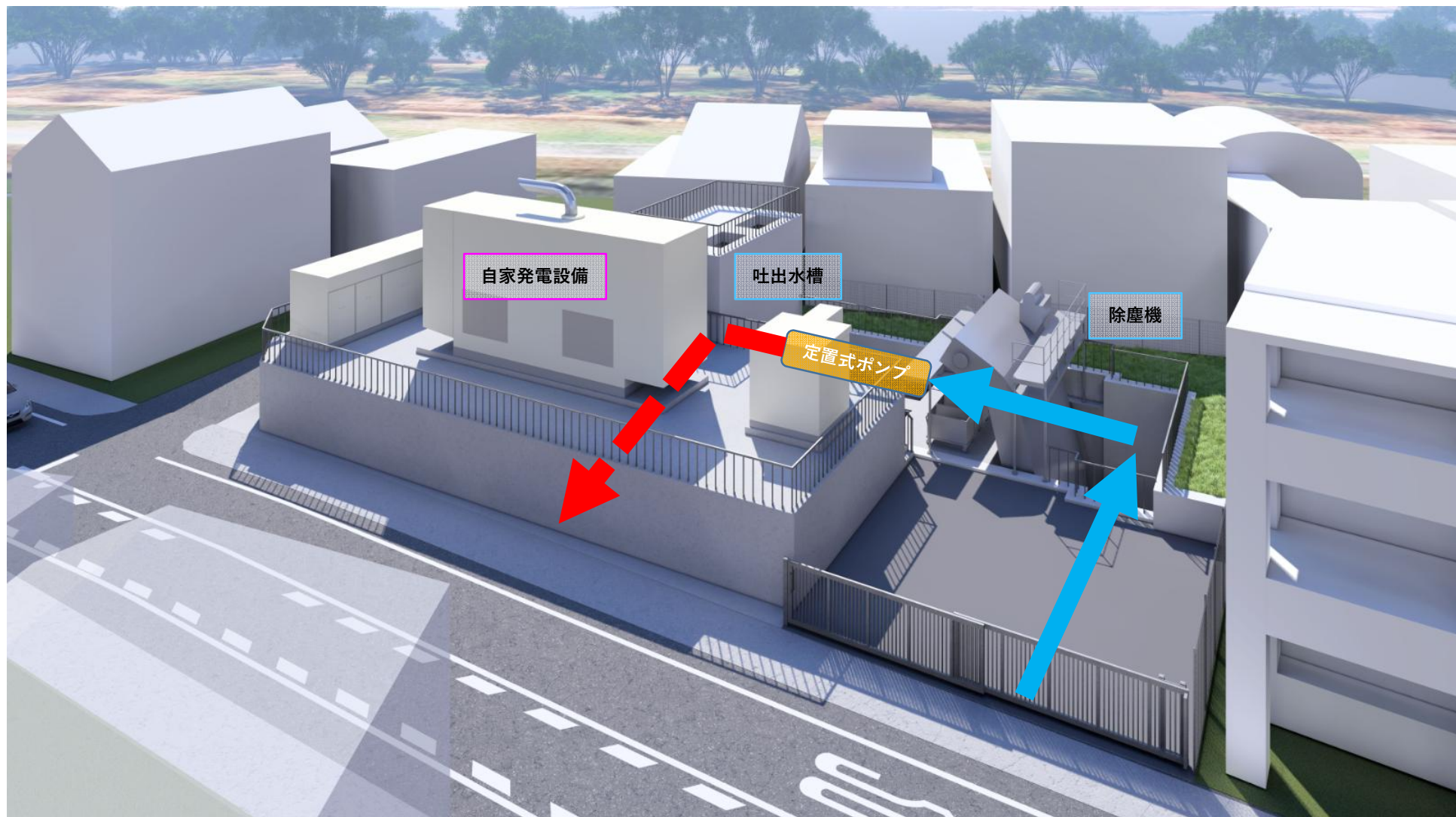
鳥瞰図〈南東から望む〉



※検討中のイメージ図であり、今後変更の可能性があります。

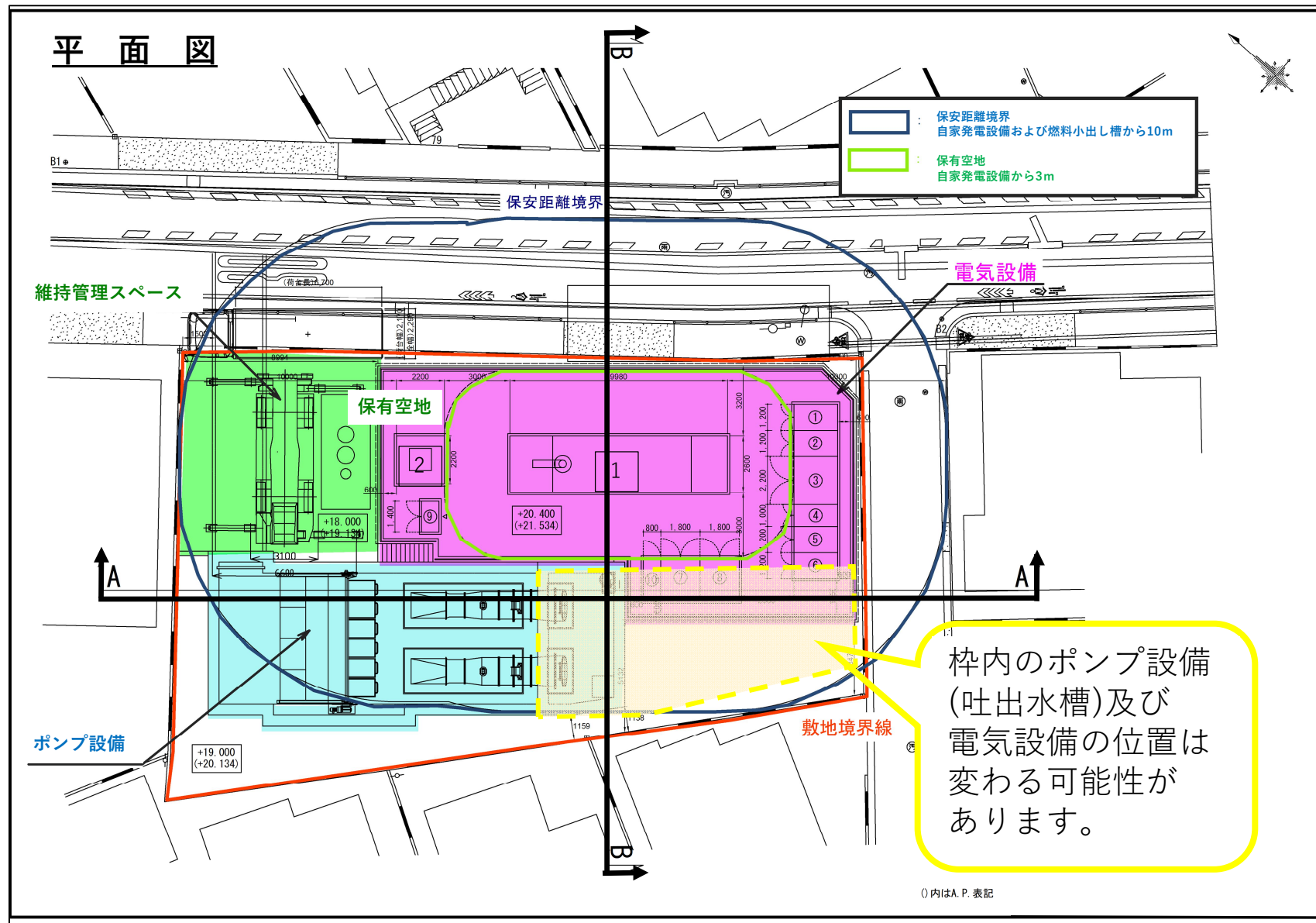
3. ポンプ施設の計画概要⑦

鳥瞰図〈北東から望む〉



※検討中のイメージ図であり、今後変更の可能性があります。

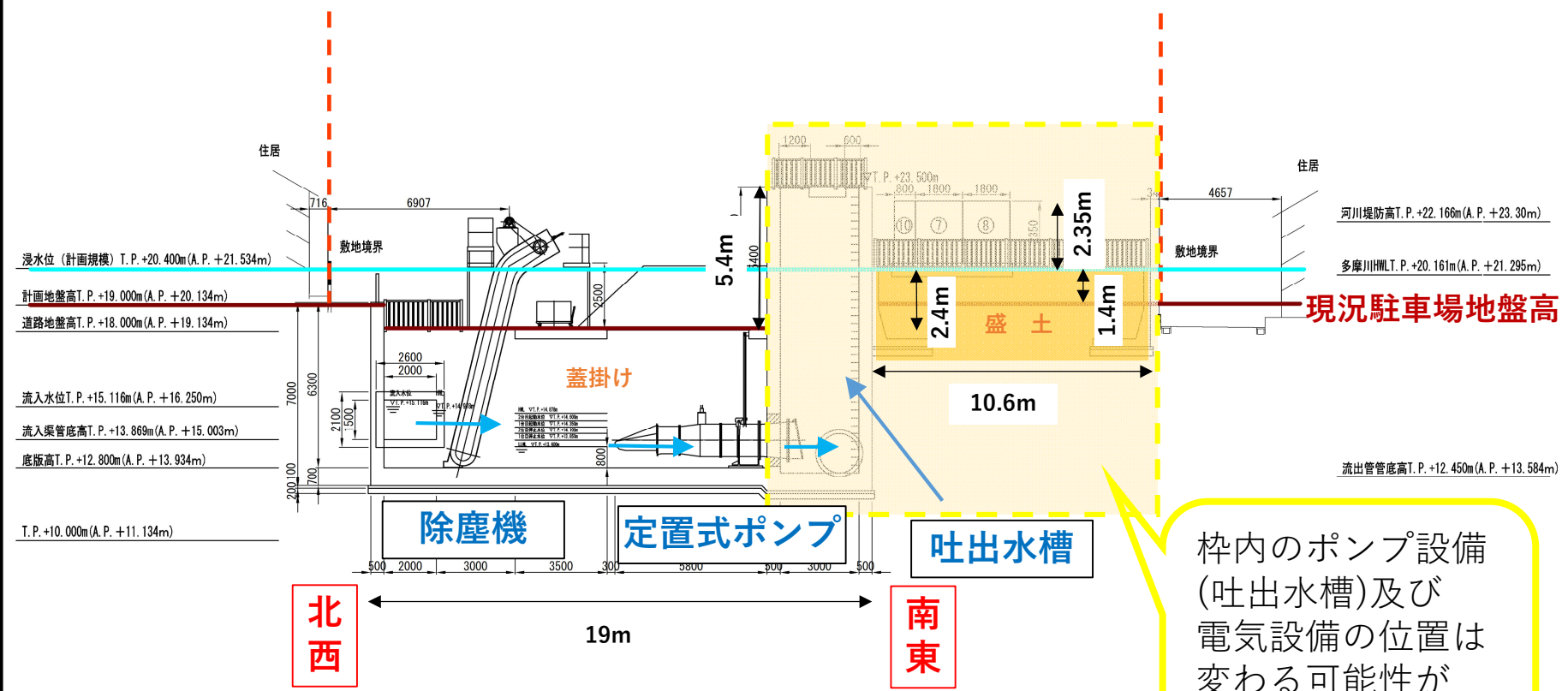
3. ポンプ施設の計画概要⑧



※検討中のイメージ図であり、今後変更の可能性があります。

3. ポンプ施設の計画概要⑨

A-A断面図
(南西側から北東側を望む)

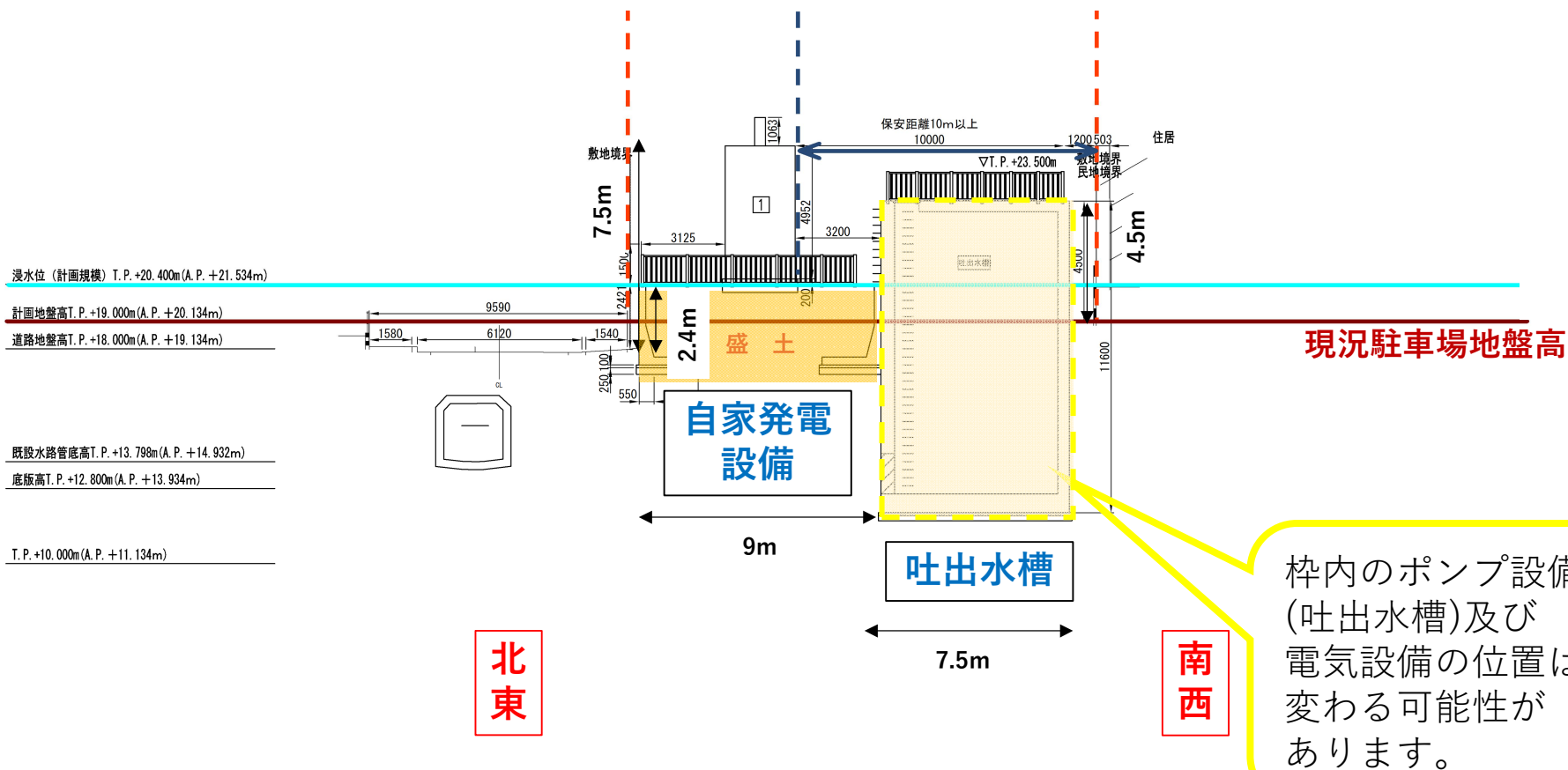


[] : 敷地境界線

※検討中のイメージ図であり、今後変更の可能性があります。

3. ポンプ施設の計画概要⑩

B-B断面図
(北西側から南東側を望む)

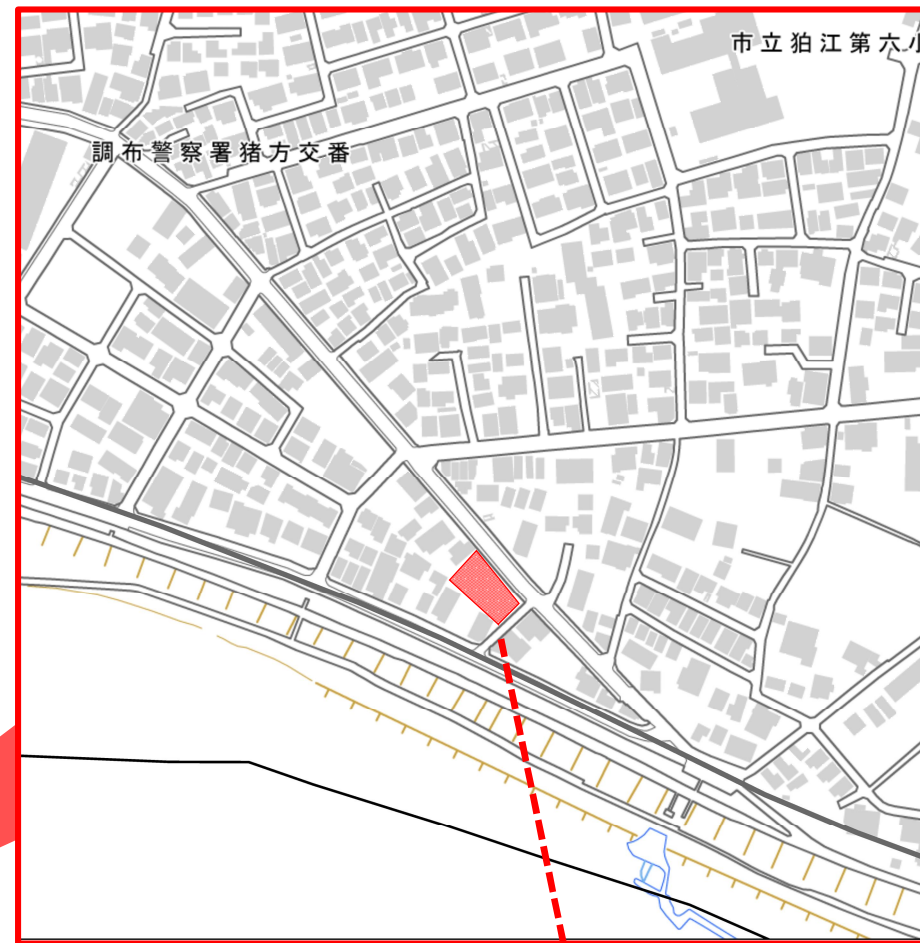
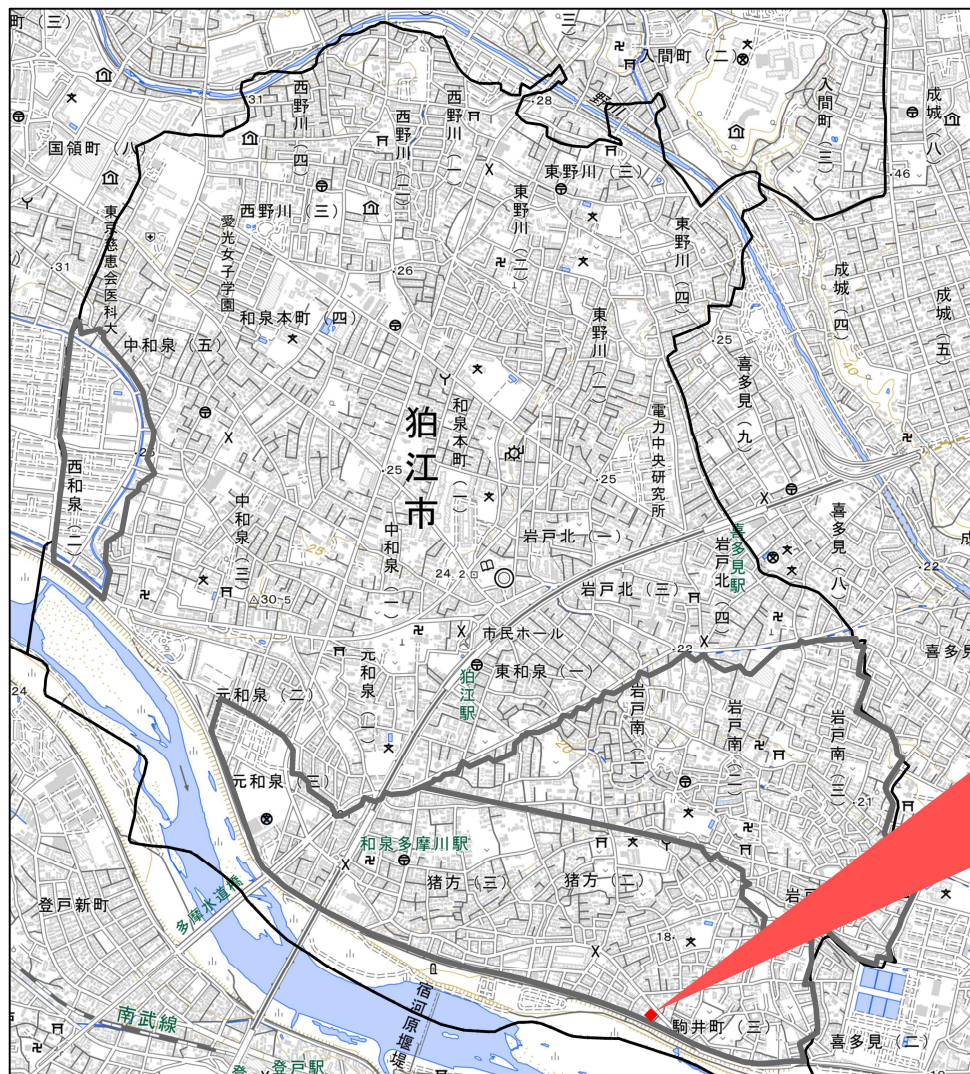


[] : 敷地境界線

※検討中のイメージ図であり、
今後変更の可能性があります。

4. 下水道施設について【都市計画変更の必要性】

- ・令和元年東日本台風の浸水被害を受けた本市では、再度災害防止の観点から、多摩川雨水幹線ポンプ場を流域の最下流部（駒井町三丁目）に設置し、雨水排水を増強することで浸水被害の軽減を図ります。
- ・そのため、都市計画変更を実施し、都市計画下水道にポンプ施設を追加します。

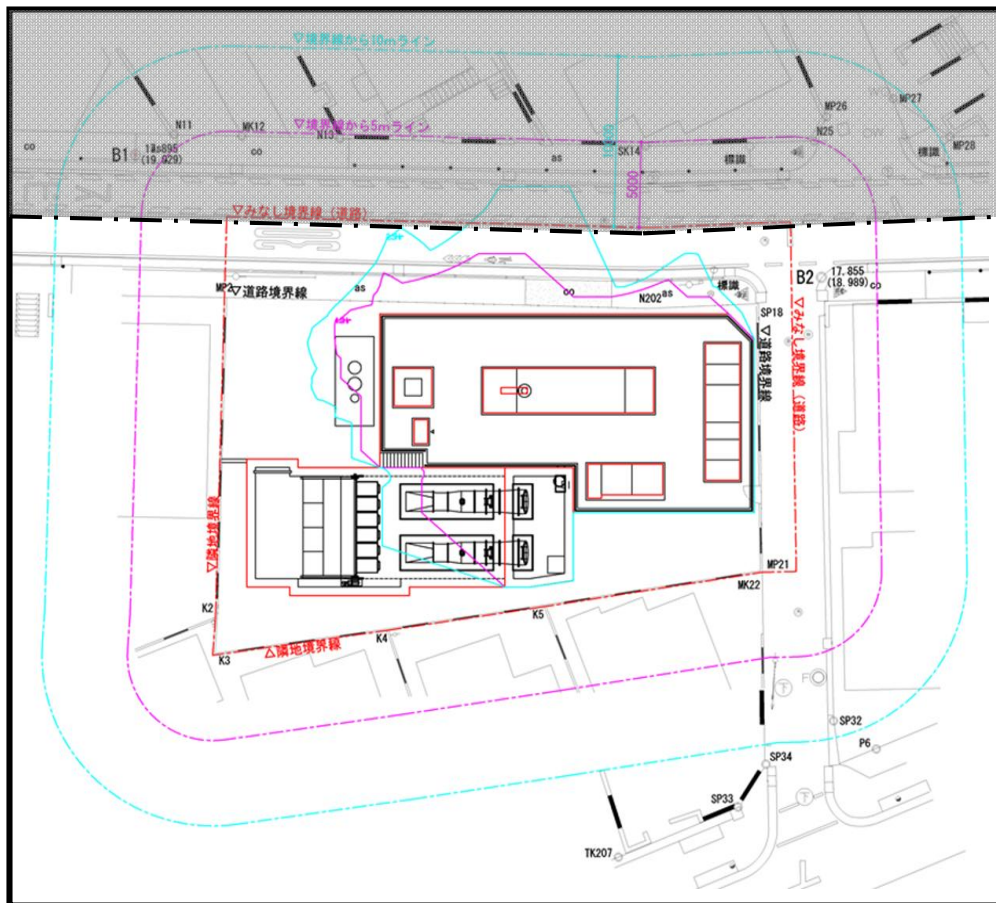


多摩川雨水幹線ポンプ場
駒井町三丁目 約573m²

4. 下水道施設について【周辺環境との調和（日影）】

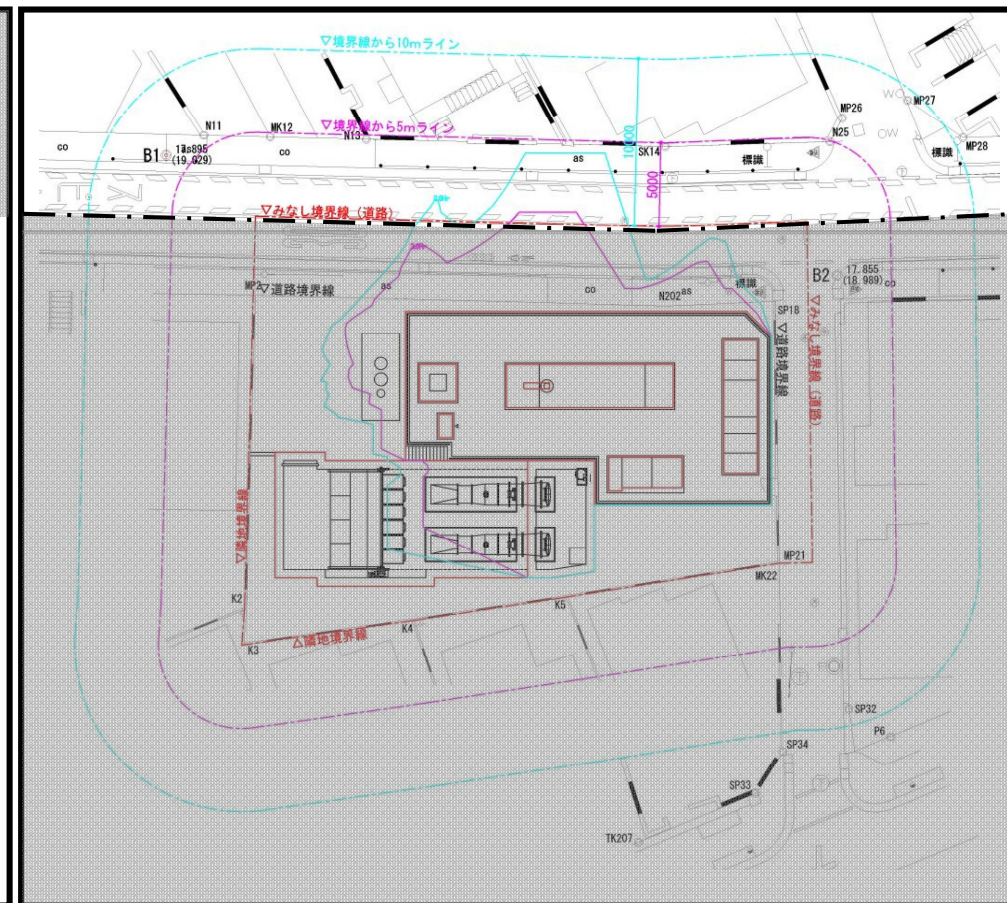
- 建設するポンプ施設の日影を検討しました。本施設は建築物ではないため、規制の対象外ですが、建築基準法に照らし合わせた場合でも規制値内となります。

日影検討図（第1種低層住居専用地域 測定面1.5m）



※冬至 8 時～16 時 規制日影時間
境界線から10m： 2.5 時間
境界線から 5 m： 4 時間

日影検討図（第1種低層住居専用地域 測定面1.5m）



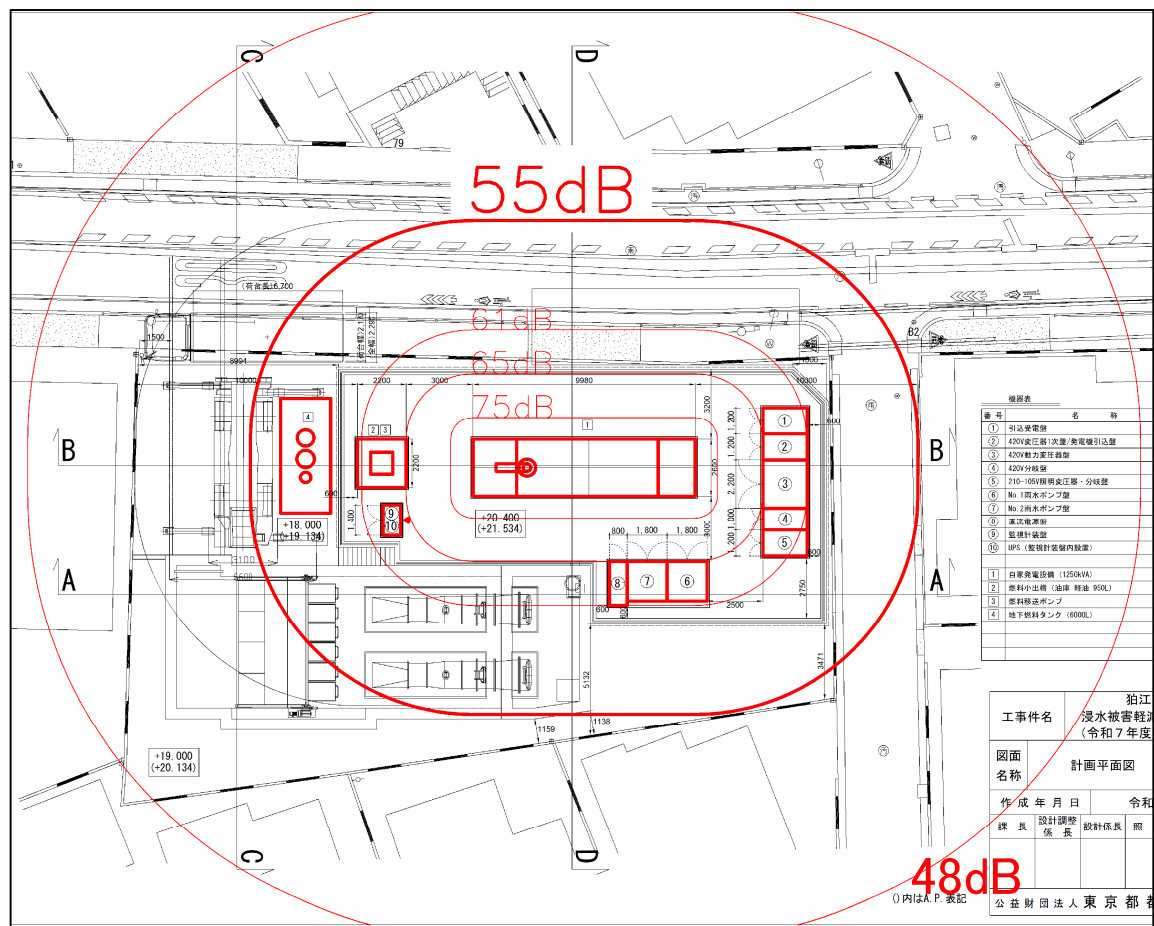
※冬至 8 時～16 時 規制日影時間
境界線から10m： 2 時間
境界線から 5 m： 3 時間

4. 下水道施設について【周辺環境との調和（騒音）】

- ・ポンプ施設に設置する非常用発電機の騒音対策を実施します。
- ・稼働時に最も近接する住宅では、自家発電設備の発する騒音は55dB程度。

※エアコンの室外機が50dBの目安です。

< 自家発電機 騒音減衰 >



5. 市民説明会の開催【令和8年5月15日・16日】

令和元年東日本台風の再度災害防止に向けた取組状況について、市民説明会を開催しました。

市民説明会

日時・ 参加者数	令和8年5月15日（金） 18:30～20:00	32名
	令和8年5月16日（土） 10:30～12:00	39名
場 所	狛江市南部地域センター	



5月15日（金）開催



5月16日（土）開催

5. 市民説明会の開催【令和8年5月15日・16日】

説明会でいただいた主な意見・質問

Q1：工事中の交通渋滞に懸念があるため、影響について確認したい。

A1：通行止めする際には、迂回路を取る必要があります。広域にお知らせをさせていただくような形で、なるべく通行量が減るようにしていきたいと考えております。

Q2：自家発電設備は高い位置に設置しないと、排水ポンプの能力があっても動けなくなると心配である。建築基準法が適用されないなら、もっと高くすれば良いのではないか。

A2：東日本台風より大きな多摩川計画規模の想定浸水深を基に高さを設定しています。これより高くすると御近隣の方に影響が出る部分もあるため、配慮した形としています。

Q3：ポンプが稼働すれば、平均雨量はどのぐらいまで大丈夫なのか。どのくらいの効果があるか。

A3：令和元年東日本台風の降雨を対象としていますので、当時の時間雨量の38.5mmを対象としております。ポンプ設置後は、浸水被害が解消されるシミュレーション結果からポンプ規模を決めています。

6. 今後のスケジュール

